

山名・山域	奥武蔵・飯能近郊の山
山行目的	体調管理・奥武蔵を歩く
山行期間	2016年7月3日 日帰り
参加者	1名

【行程表】

658 東横線横浜駅（特急飯能行）—（飯能）—850 西武線吾野駅 855—法光寺墓苑—前坂分岐—1002 大高山—1110 天覚山—1150 久須美坂—西武団地—1300 多峯主山（とうのすやま）—1357 天覧山下（バス）

【山行記録】

東急東横線と西武線が繋がって「奥武蔵山域」が身近になった。7時前に横浜を出て乗換一回で秩父線吾野駅に8時50分に着く。今回も駅から直接登れる山を探して大高山—天覚山—多峯主山（天覧山の高点）を縦走することにした。電車で5駅・20分強（線路は遠回りしているが）の距離、「結構有るな」と思いつつ計画した。

吾野駅の地下道を潜って駅の裏に出る。法光寺墓苑の管理事務所脇から登山道に入り、杉の植林帯を九十九折に登るとやがて急登になる。昨晚、長女の婿殿と「BS3のパノニアレス」見ながら大騒ぎをした「つけ」なのか、汗が噴き出る。酒の毒が混ざった悪い汗だ。T字路状の尾根の分岐を経て小一時間で大高山山頂にたどり着く。標高差320mは結構堪える。やがてササの良い汗になり調子も出てきたので快調に飛ばすつもりで頂上を後にする。実はここからが大変だった。行けども行けども小さなピークが次々に現れ10~11迄数えたが馬鹿らしくなって止めた。一時間強のアップダウンの繰り返しで「いい加減嫌になった」頃、天覚山の山頂に着く。奥多摩方面の展望が良い。気温も上がり、汗が目に入る。しかし風が気持ち良い。これが「夏の山」だ。気分が出てくる。

天覚山からも小さなアップダウンが続くが、暫くすると平坦になり、さらにだらだら下りの登山道も現れ「一息つきながら」久須美坂をめざす。東峠で一旦林道を横切り、再度急登の後、尾根道に行く。突然右下から女性の声が聞こえる。続いて「ナイス、ナイス」という声。直下に「飯能グリーンカントリークラブ」があり、プレイ中のゴルファーだった。直ぐそこ20mから30mの距離にいる。何とも興ざめだ。まあ気を取り直して先を急ぐ。

久須美坂は何の変哲もない鞍部でクランク状に峠道を分けている。どんどん歩いて先を急ぐと周囲の喧噪が耳につくようになる。直角に右折する分岐を経て、市街地の中の道を経由し、多峯主山に近づく。この辺、標識が分かりづらい。僅かなアップダウンの後、天覧山全体の最高点多峯主山山頂に着く。家族連れハイカーが休憩している。とにかく暑い。この暑さの中、山の反対側の展望台を経て飯能市街を30分近く歩く気になれず、バス停に降りることにする。住民に尋ねながら無事バス停まで下山した。国際興業バスは冷房が効いていて天国だった。

下山後ネットで調べたら今日のコースを「飯能アルプス」と呼んでいる人がいた。広く周知された呼び名かどうか判らないが、アルプスと呼ぶだけあってなかなか歩き応えのあるコースだった。暑い時期は市街地に下山してくるので「どうかと思うが」秋から冬にかけては「トレーニング」にも使える良いコースだ。

登路案内はほとんどが手作り、他の山域のように市町村が設置した立派なものはない。行ってはならない方向は木枝を積み重ねて「通せんぼ」しているので注意して歩けば問題ない。長いコースだが途中「東吾野」や「武蔵横手」にエスケープする道も沢山あるので安心して歩ける。別の季節に再度歩いてみたいと思った。